

水稻用除草剤

登録番号 第20156号

ユートピア1キロ粒剤

(シクロスルフアムロン・ペントキサゾン粒剤)



- 有効成分 シクロスルフアムロン 0.60% ペントキサゾン 4.5%
- 性 状 類白色細粒
- 毒 性 普通物
- 有効年限 5 年
- 包 装 1kg×10袋／ケース 4kg×4袋／ケース
- 化 管 法 ペントキサゾン(1種) 4.5%

【特 長】

1. 田植同時処理で作業を省略
2. 50～60日効果が持続
3. 高い土壌吸着で安定効果
4. 有効成分は2種類

【適用雑草と使用方法】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量 (10a当り)	本剤の 使用回数	使用方法	適用地帯	被害防止 方法
								使用者
移植 水 稲	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道) クログワイ (北海道、北陸を 除く) オモダカ ヒルムシロ (北陸を除く) アオミドロ・藻類 による表層はく離	移植時	砂壤土～ 埴土	1kg	1回	田植同時 散布機で 施用	北海道	
			壤土～ 埴土				東北 北陸	
			砂壤土～ 埴土				関東・東山・東海 の普通期及び 早期栽培地帯	
			壤土～ 埴土				近畿・中国・四国、 九州の普通期及び 早期栽培地帯	
		移植直後～ ノビエ1.5葉期 ただし、 移植後30日まで	砂壤土～ 埴土			湛水散布	北海道	不要
			壤土～ 埴土				東北 北陸	
			砂壤土～ 埴土				関東・東山・東海 の普通期及び 早期栽培地帯	
			壤土～ 埴土				近畿・中国・四国、 九州の普通期及び 早期栽培地帯	

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量 (10a当り)	本剤の 使用回数	使用方法	適用地帯	被害防止 方法 使用者
移植水稲	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道) クログワイ (北海道、北陸を除く) オモダカ ヒルムシロ (北陸を除く) アオミドロ・藻類 による表層はく離	移植後3日～ ノビエ1.5葉期 ただし、 移植後30日まで	砂壤土	1kg	1回	湛水散布	近畿・中国・四国、 九州の普通期及び 早期栽培地帯	不要
シクロスルフアロンを含む 農薬の総使用回数		ペントキサゾンを含む 農薬の総使用回数						
2回以内		2回以内						



使用者への被害防止方法

不浸透性手袋



【使用上の注意】

1. 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
2. 雑草の発生前からノビエの1.5葉期まで有効なので、時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカは2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、クログワイ、オモダカ、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前までが散布適期です。
3. クログワイ、オモダカの防除に当たっては、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用してください。
4. 苗の植え付けが均一になるように、整地、代かきはいねいに行い、ワラくずなどの浮遊物はできるだけ取り除いてください。また、未熟有機物を施用した場合は特にいねいに行ってください。
5. 田植え同時期に施用する場合は、通常の移植作業と同様に落水下で田植えと施用を行い、施用後に入水してください。また、入水後の散布については、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布してください。処理後は通常の湛水状態（水深3～5cm程度）を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないようにし、7日間は落水、かけ流しはしないでください。

6. 散布直後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下することがあるので使用をさけてください。
7. 苗が水没するような深水状態では、葉鞘部に軽い褐変症状が出るおそれがあるので、水管理に注意してください。
8. 以下のような条件下では、薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。特にこれらの水田条件と散布日または散布数日以内の梅雨明けなどによる異常高温が重なると、初期生育の抑制が顕著になるので注意してください。
 - ・砂質土壌の水田や漏水の大きな水田（減水深2cm／日以上）。
 - ・軟弱徒長苗を移植した水田。
 - ・極端な浅植えをした水田や浮き苗の多い水田および極端な深植えをした水田。
9. れんこん、くわい、いぐさ、せりなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
10. いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
11. 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
12. アレルギーを起こすおそれがあります。
13. 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
14. 散布後は水管理に注意してください。
15. 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

【貯蔵上の注意】

直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥し子供の手の届かない場所に密封して保管してください。